

○教育目標

知：考えを深める子  
徳：よさを認め合う子  
体：心と体をきたえる子

いわき市立中央台南小学校長 高野 智則



←ホームページも  
ぜひご覧ください。

# 南小だより

## 6年生の陸上大会、大健闘でした

6月25日、市小学校陸上競技大会第1ブロック大会が晴天のもと実施されました。雨で1週間の延期となりましたが、さらに練習を積んで本番を迎えることができました。

本番では、6年生児童一人一人が全力で精一杯競技する姿に、とても感動しました。子どもたちも、達成感があつたようです。

結果は、半数の児童が入賞することができました。大会の規定では、「入賞は参加児童の約3割」となっていますが、本校がいかに好結果であったかが分かります。こ

こまで支えてくださった保護者皆様、地域の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

児童の達成感と自信が、次のステップにつながるようにしていきたいと考えます。



## 暑さ対策について 「WBGT」「2段階対応」

近年の夏は、「危険な暑さ」と言われるように大変暑い夏です。7月に入り、その暑さを体感することが多くなっています。これから迎える夏休みや夏休み後も、この猛暑が続くことが予想されます。

本校では、児童が安全に学習できるよう、毎日「WBGT（暑さ指数）」の9時・12時・15時の予測値（環境省発表）を職員室内に表示し、職員間でその都度確認しています。WBGTの予測値が高いときは、実際に学習場所の

WBGTと気温・湿度を測定して確認し、その結果で対応を決めるようにしています（予測と実測の「2段階対応」）。活動場所のWBGTが31度以上の時は、環境省の規準に従い「運動を一切中止」とします。その場合は、外遊び・プール学習も含め、エアコンのある室内で過ごすこととします。

今年度はまだ、WBGTが31度を超えたことはありませんが、今後も児童が安全に学習できるよう努めていきます。保護者の皆様には、毎日の水筒（水かお茶）の準備をいただきありがとうございます。



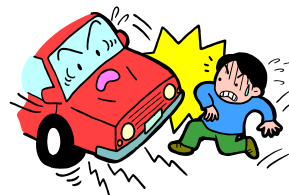
## お願い



保護者の皆様へは、自家用車での来校時（児童の送迎等）は、学童側の駐車場をご利用いただくようお願いしております。特に、児童の送迎時は、児童の登下校と重なり混雑する場合があります。皆様の安全面を第一に考え、

- ① 駐車場内での徐行
- ② 駐車場の出口では、歩道を横切る児童を優先（一時停止）
- ③ 駐車場から出る車が優先（出してから入る）
- ④ 学校前の道路ではスピードを落とす

の実施に、ご協力をお願いいたします。

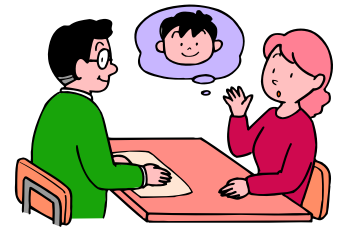


## ご来校ありがとうございました ～教育相談～

保護者の皆様一人一人とお話しをすることができ、大変貴重な時間となりました。短い時間ではありましたが、お子さんの学校での様子をお伝えしたり保護者の皆様の心配・不安なことをお聞きしたりすることができました。ご来校をいただき、大変ありがとうございました。

また、こちらの都合で急な日程変更が生じた保護者の皆様、ご理解・ご協力をいただきましたこと重ねて感謝申し上げます。

本校では、教育相談の実施により1学期の通知票には所見を記載しないこととしています（学習の評価と生活面の評価、出欠等の記載のみ）。お子さんのことでご心配なことがありましたら、いつでも構いませんので、担任や学校へご相談ください。



### 【 校長室より 「約束と命令」 】

子育ては大変です。しかし、子どもを育てる苦労やその成長の喜びは、親として人生の貴重な醍醐味でもあります。

子どもの対して、「約束したでしょ。どうして守らないの？」という場面はないでしょうか。私の子育てでの失敗談になりますが、あえて披露したいと思います。

子どもが夜更かしばかりして、生活が乱れた時期がありました。そこで私は子どもに対して、「〇時までには風呂に入って、〇時までには寝ること。いいね、約束だよ。」と話しました。その後も、夜更かしは続き、その度毎に、「ちゃんと約束を守れ！」と強要することが続きました。親としては、このようなことがたくさん続くと、本当に疲れてしまいます。

ところで、子どもにとって、「〇時までには風呂に入って、〇時までには寝ること」は”約束”と捉えているのでしょうか？ ”約束”とは、互いに同意した取り決めのことです。親が一方的に「約束だよ」というのは、”約束”ではなく、子どもにとっては”命令”なのです。一方的な”命令”では、子どもは納得しないでしょう。これでは、親の言うことを聞かないのも当たり前です。

ではどうするか？ 私は、「〇時までには風呂に入って、〇時までには寝ること」を、私の思いを話した上で子どもに決めさせることとしました。子どもが自分で決め、私も同意し、”約束”としました。



私はかつての教え子達に、「人生は失敗と決断の連続」とよく話してきました。自分で決める、決めさせるということは、とても大事なことだと考えます。「決断」の裏には、いろいろなことを考えなくてははいけません。損失の有無、可否、労力など、子どもなりに考えるでしょう。このような関わりを継続的にもつことで、考え実行する力が育ちます。親は、いつまでも子どもの側にはいられません。自信をもって主体的に生きる子ども達に育ててほしいです。